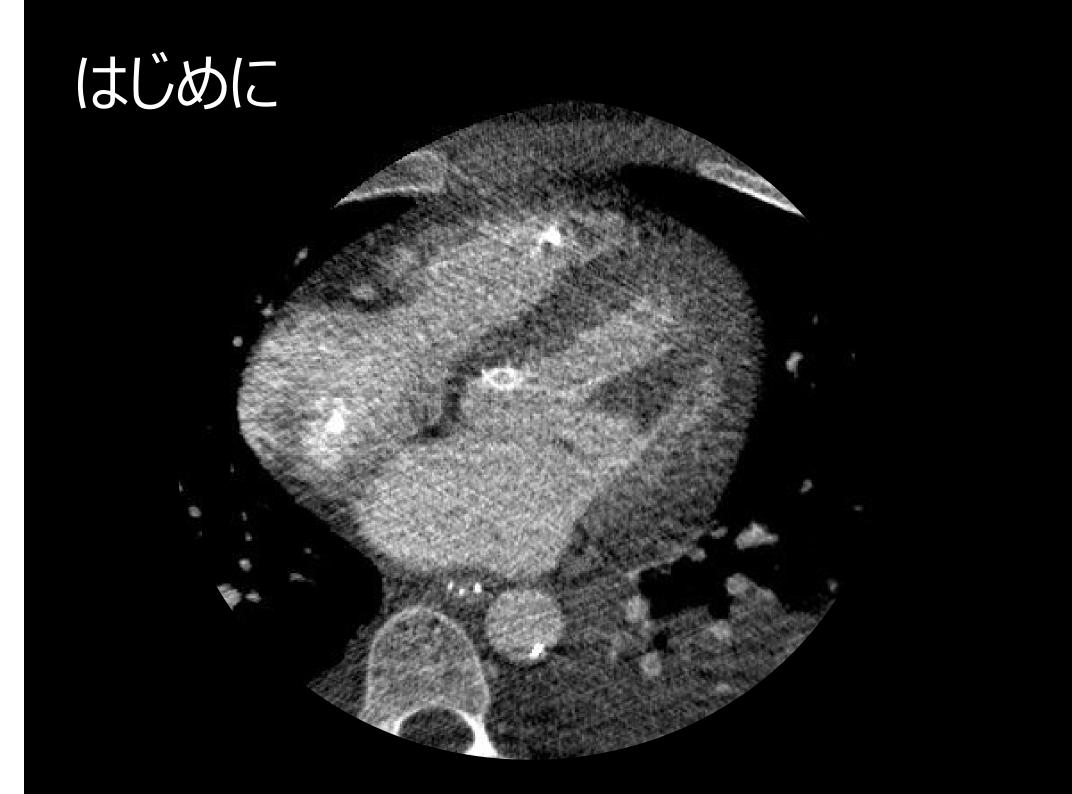


鹿児島大学病院 臨床技術部 放射線部門 林 六計



はじめに

Deep learning reconstruction

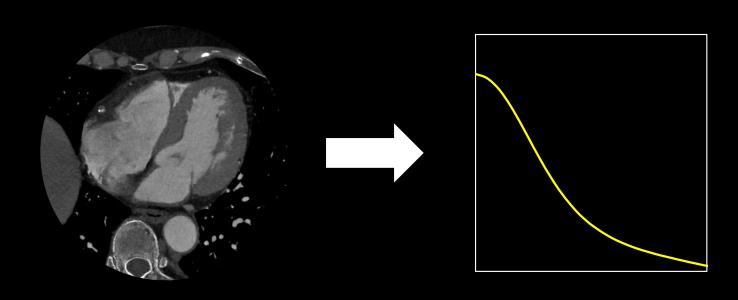
ノイズ低減 十 テクスチャーの担保

超解像度

Deep learning reconstruction を応用した超解像再構成技術

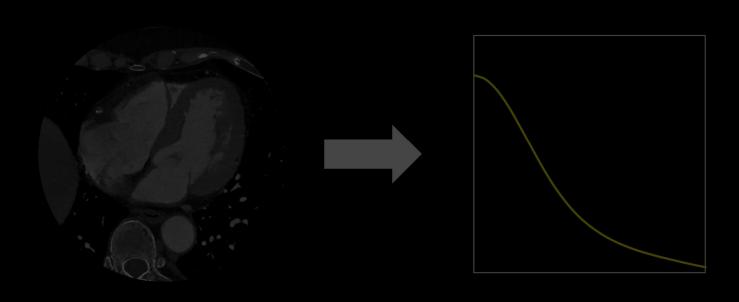
本日の内容

- ▶ 鹿児島大学病院の紹介
- ➤ CanonにおけるAI技術の現状 (AiCE, PIQEについて)
- > AI技術の将来への期待



本日の内容

- > 鹿児島大学病院の紹介
- ➤ CanonにおけるAI技術の現状 (AiCE, PIQEについて)
- > AI技術の将来への期待





鹿児島大学病院



放射線部について

• 診療放射線技師: 42名

• CT検査室

CT装置:4台(1台は救急部専用)

スタッフ : 放射線科医 1名, 放射線技師 4名,

看護師 1~2名, 受付1~2名

当院のCT装置







IQon Spectral CT ×2 SOMATOM Force (PHILIPS)

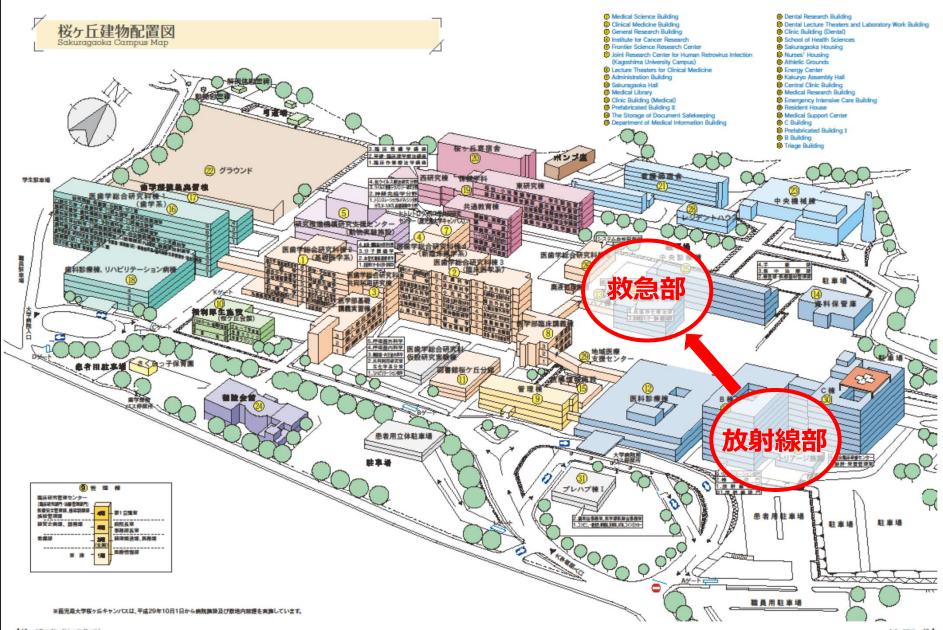
2017.1 -

2018.2 -

(SIEMENS) 2018.2-

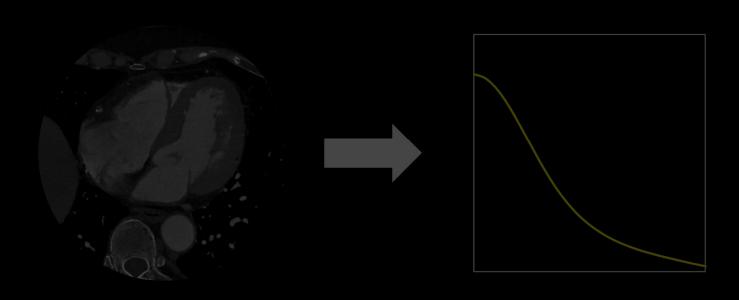
Aquilion ONE PRISM Edition (Canon) 2022.3-(救急部専用CT)

鹿児島大学病院



本日の内容

- ▶ 鹿児島大学病院の紹介
- ➤ CanonにおけるAI技術の現状 (AiCE, PIQEについて)
- > AI技術の将来への期待





- Deep Learning Reconstruction - Advanced Intelligent Clear-IQ Engine

powered by Altivity

※画像再構成に用いるネットワーク構築にディーブラーニングを使用しており、本システムに自己学習機能は有しておりません。 ※「Altivity」は、キヤノンメディカルシステムズのAIソリューションブランドです。

Reconstruction technology



Hybrid IR

AIDR 3D

Exploiting Iterative Reconstruction

2012



MBIR
FIRST
Exploiting System Modeling
2016



Deep Learning Reconstruction

AICE

Exploiting the Power of Artificial Intelligence **2018**

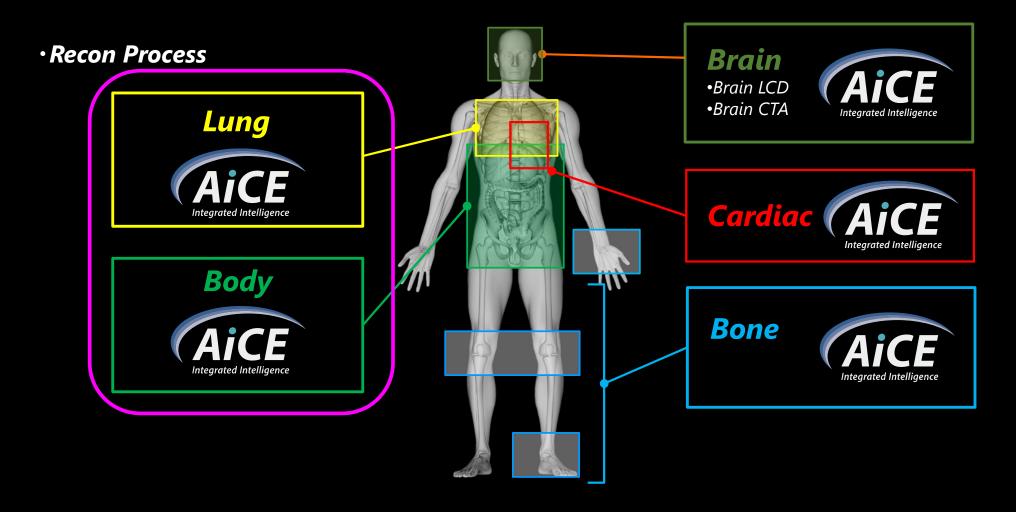
強力なノイズ・アーチファクト低減 当社CT 全機種搭載 AIDR 3Dを上回る被ばく低減空間分解能を最大限引き出す

更なる被ばく低減・更なる画質改善 ・高速ワークフロー

Adaptive Iterative Dose Reduction: AIDR 3D, Model Based Iterative Reconstruction: MBIR, Forward projected model-based Iterative Reconstruction SoluTion: FIRST, Advanced intelligent Clear-IO Engine: AiCE

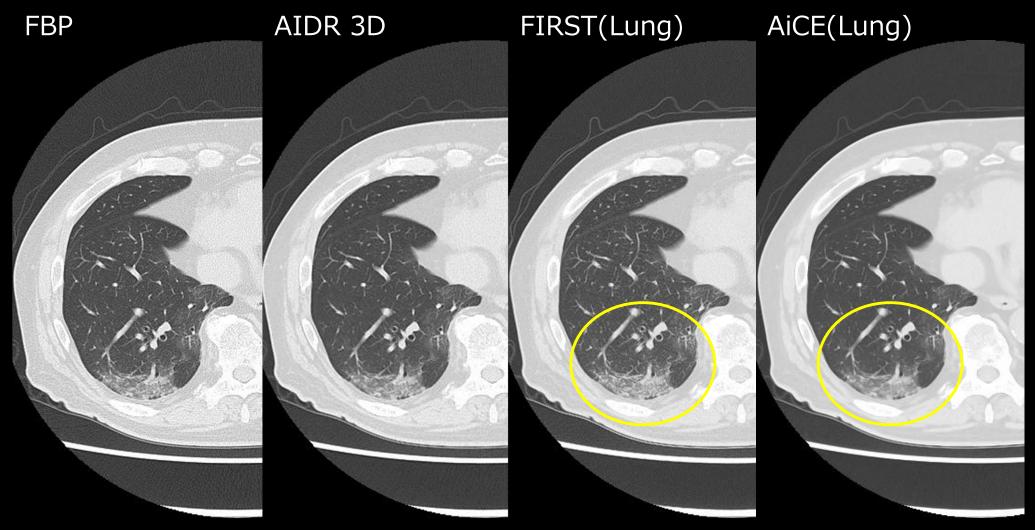
Advanced intelligent Clear-IQ Engine

部位ごとにDCNNを構築し、検査内容に応じて最適な画像を提供



臨床症例

Lung(COVID-19)



FIRSTよりも解像度は劣るが、テクスチャを担保した上でノイズ低減できている印象

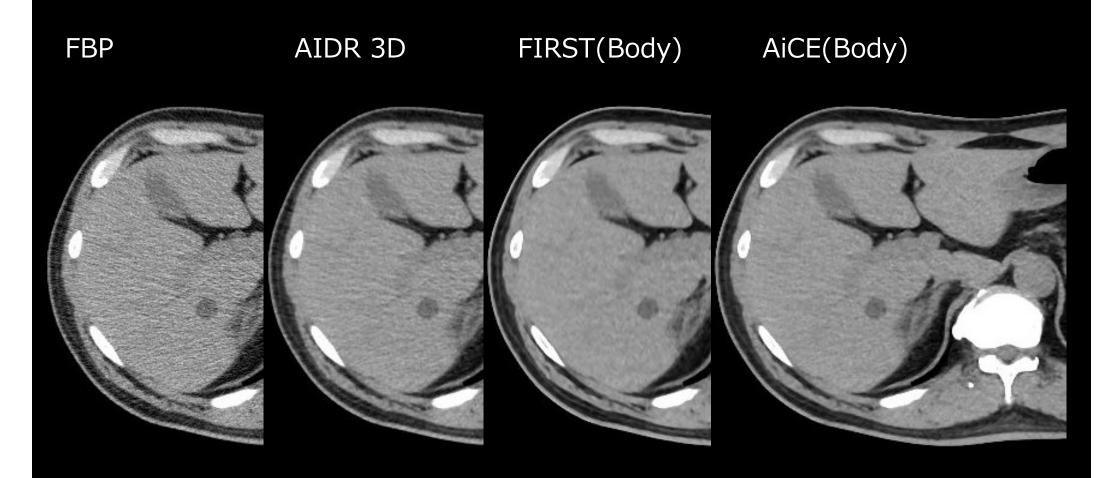
* AIDR 3D: Hybrid IR, FIRST: MBIR

Body (癒着性腸閉塞)

FBP AIDR 3D FIRST(Body) AiCE(Body)

Lung同様, 解像度はFIRST>AiCE?

Body (肝囊胞)



低コントラスト分解能はAiCEが最もFBPに近い?

ファントム実験

ファントム

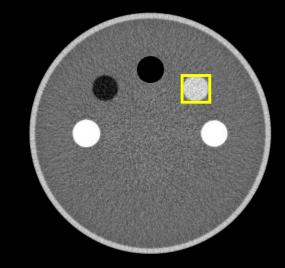
- TOSファントム (CT装置付属)
- Catphan 600 (Phantom Laboratry)

撮影条件 (当院腹部撮影条件)

- 120 kV
- Volume EC (SD 12.5 @ 3 mm)
- 0.5 sec/rot
- 0.5 mm

画像計測ソフトウェア

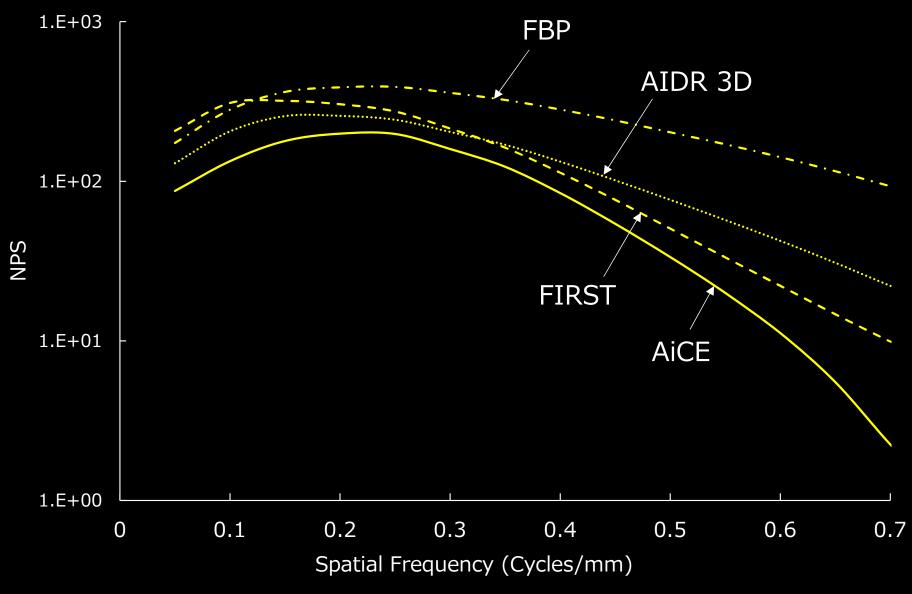
・CT measure ver. 0.98f (日本CT技術学会)



TOSファントム アクリル(≒ 130 HU)

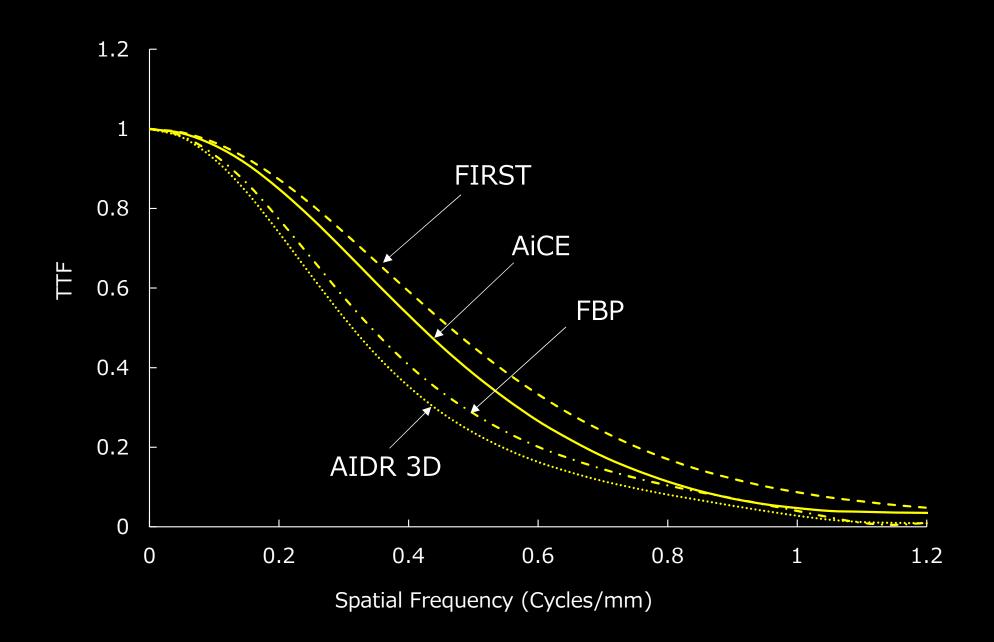


NPS

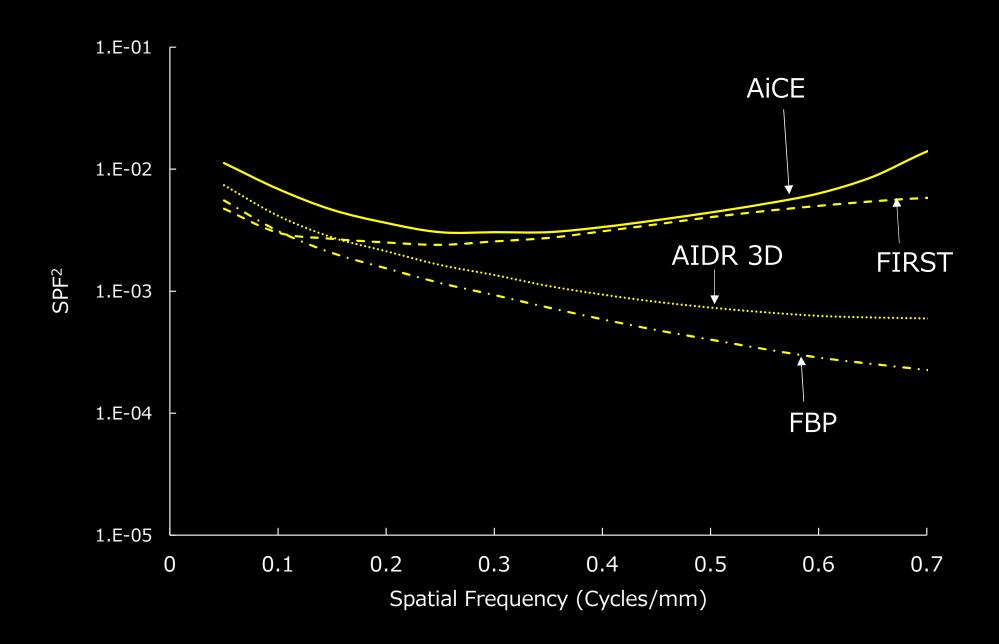


※Levelは全てStandard, FIRST/AiCEはBodyを使用.

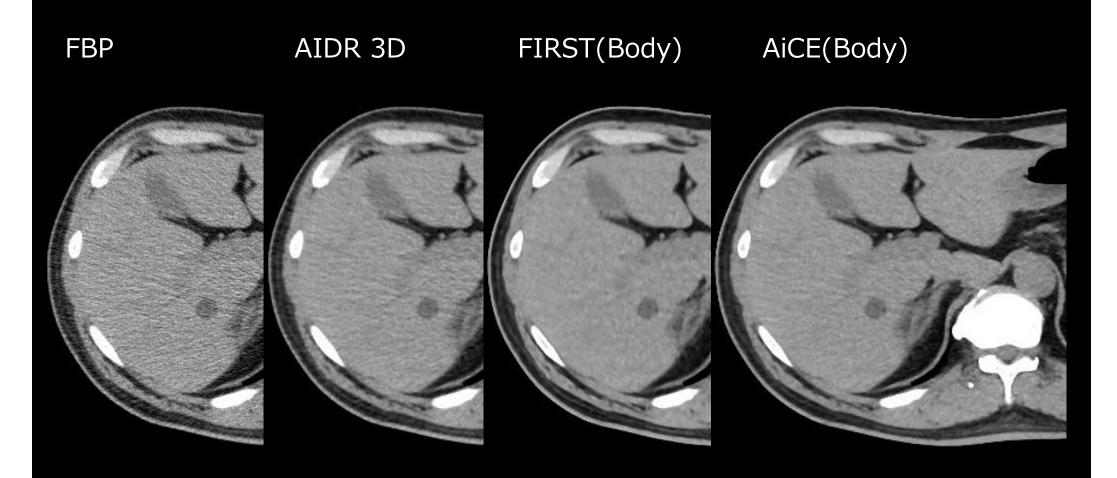
TTF



SPF

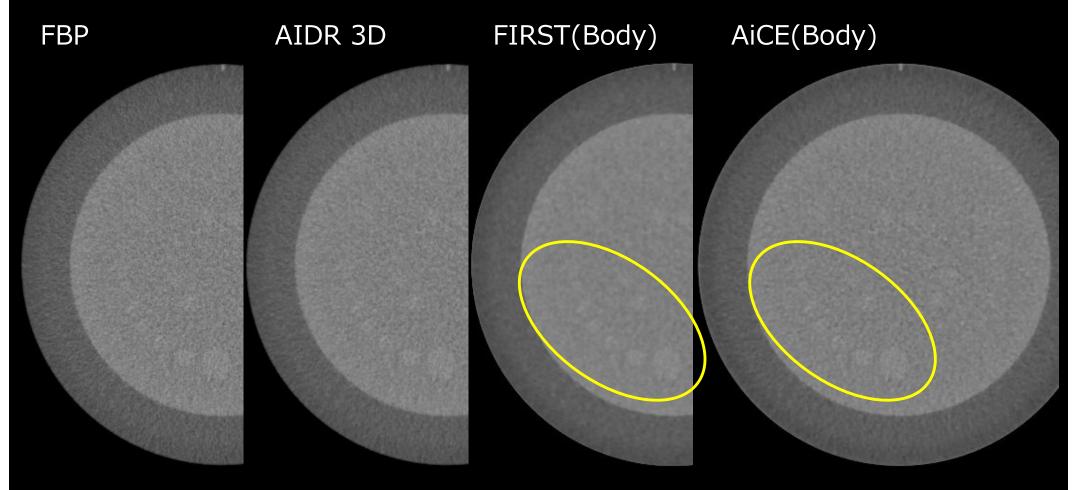


Body (肝囊胞)



低コントラスト分解能はAiCEが最もFBPに近い?

低コントラスト分解能 (Catphan 600)



Slice thickness: 5 mm

低コントラスト検出能はFIRSTと同等で、より質感がFBPに近い



キヤノンメディカルシステムズ提供資料

PIQE - Precise IQ Engine -

 $ADCT \times AI \times HRCT$

Aquilion ONE

PRISM Edition



Area Detector CT (0.5mm, 896ch)



Deep Learning Technology

Aquilion Precision

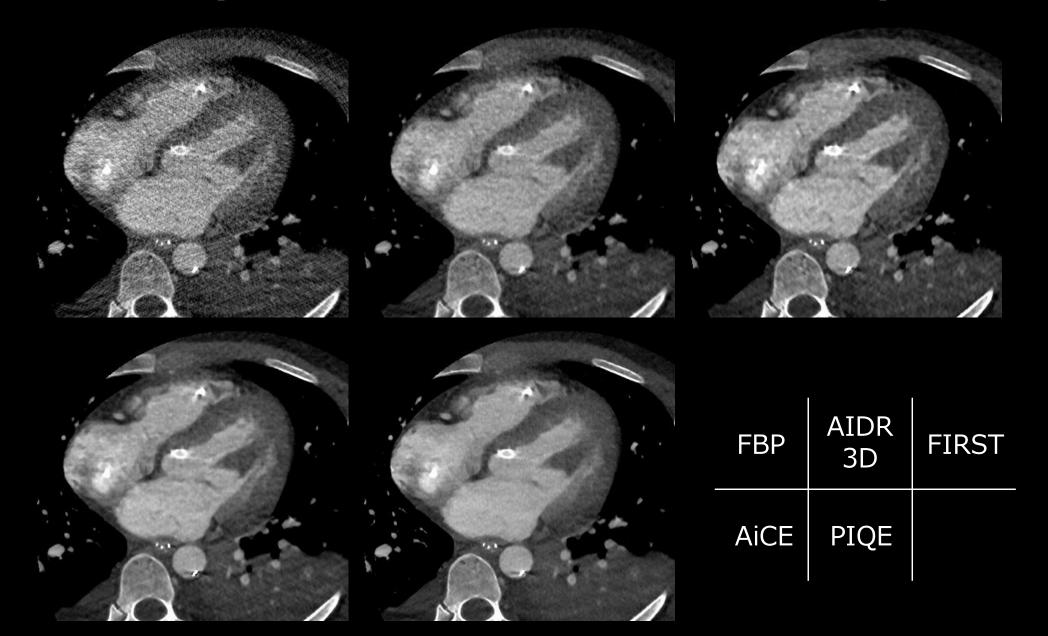


High Resolution CT (0.25mm, 1792ch)

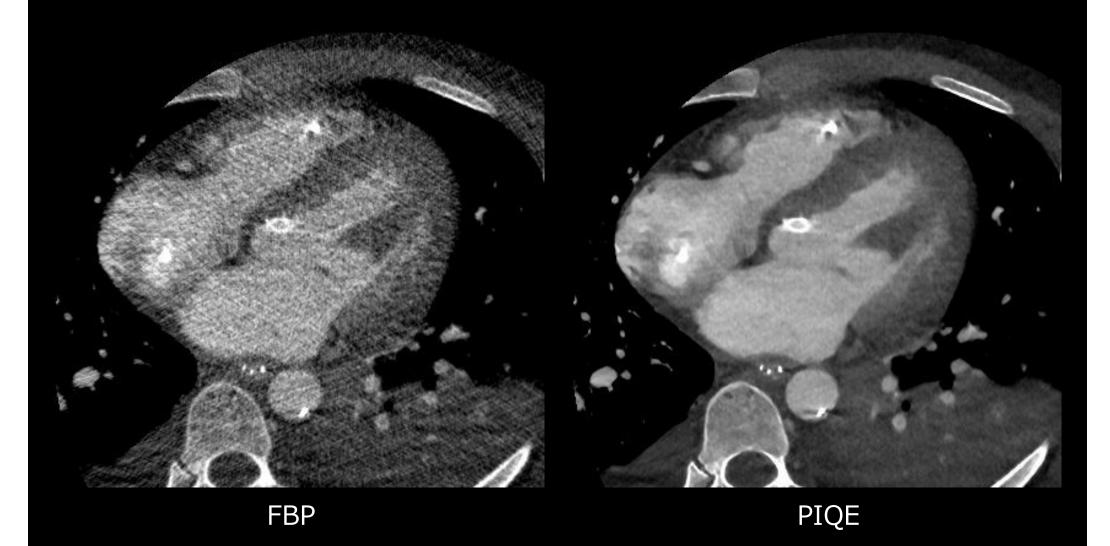
超解像技術による高精細ONE Volume心臓撮影 (High Resolution + ADCT) の実現

臨床症例

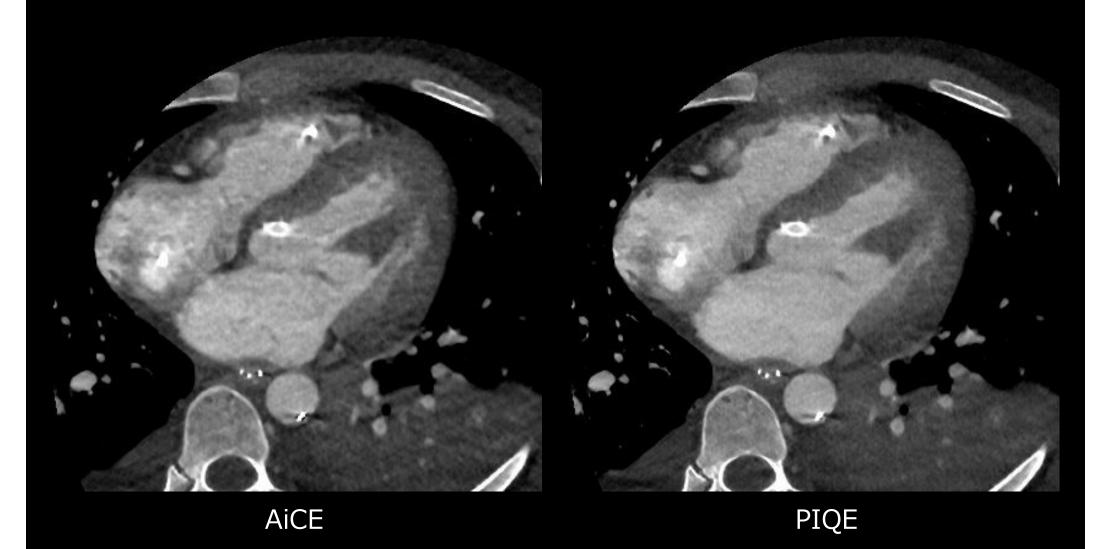
Axial (劇症型心筋炎, PCPS+)



FBP vs PIQE

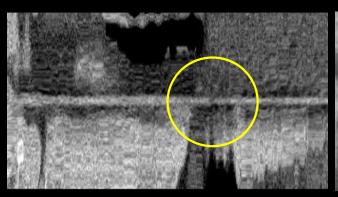


AiCE vs PIQE



PIQEを用いることで、ノイズ低減に加えて高分解能の画像が得られている.

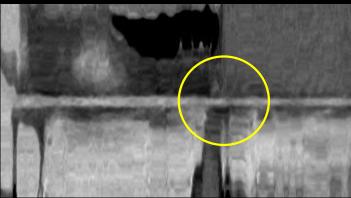
Straight CPR (RCA)







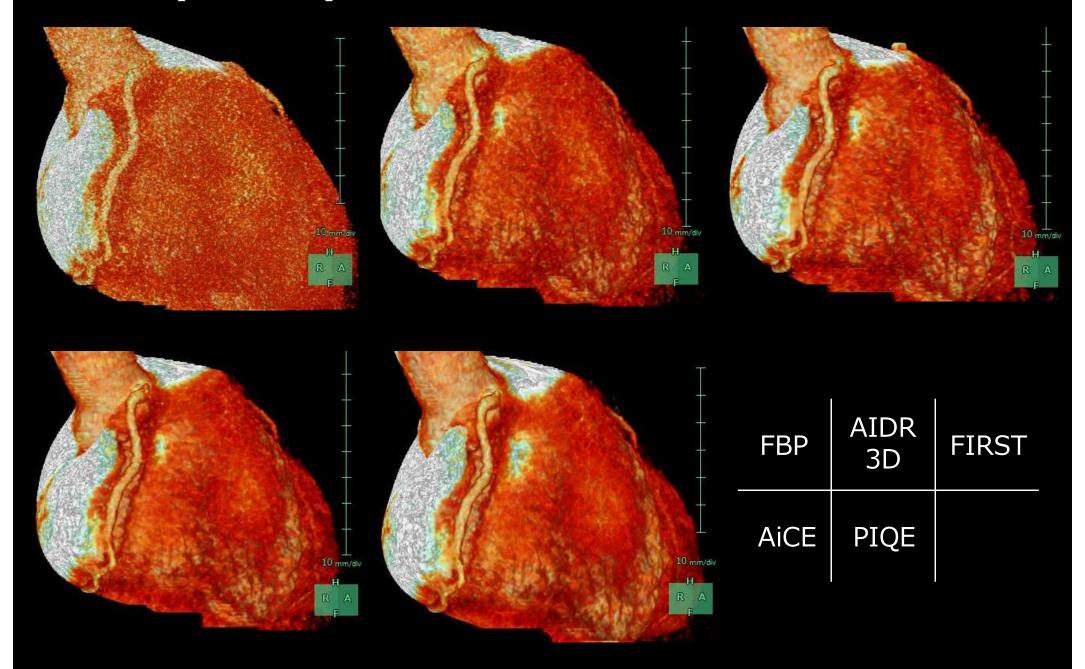




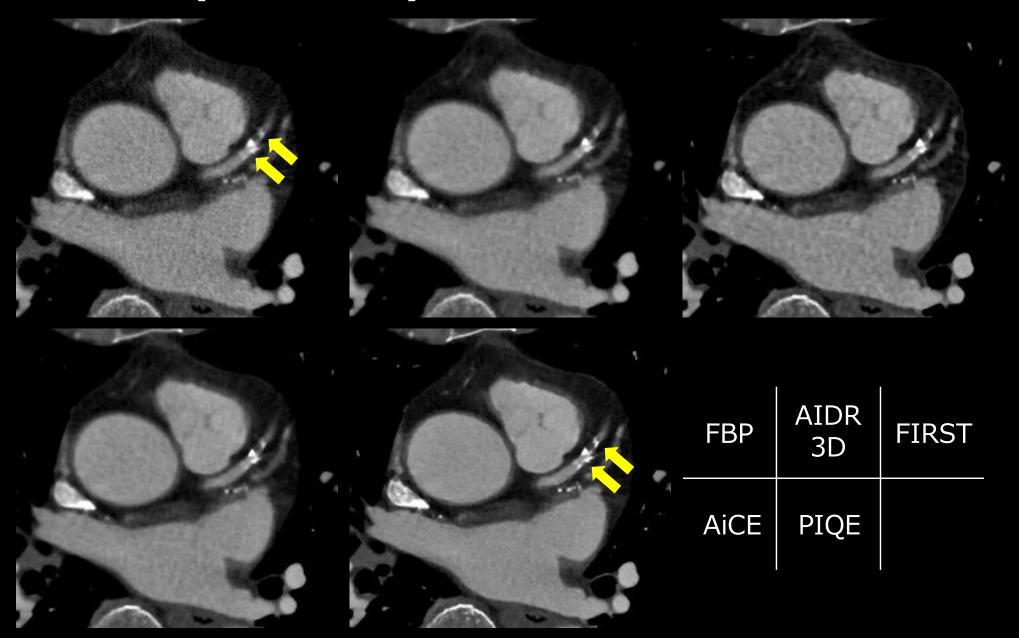
| FBP | AIDR 3D | FIRST |
|------|------------|-------|
| AiCE | PIQE | |

ノイズで不明瞭だったところが見やすくなっている.

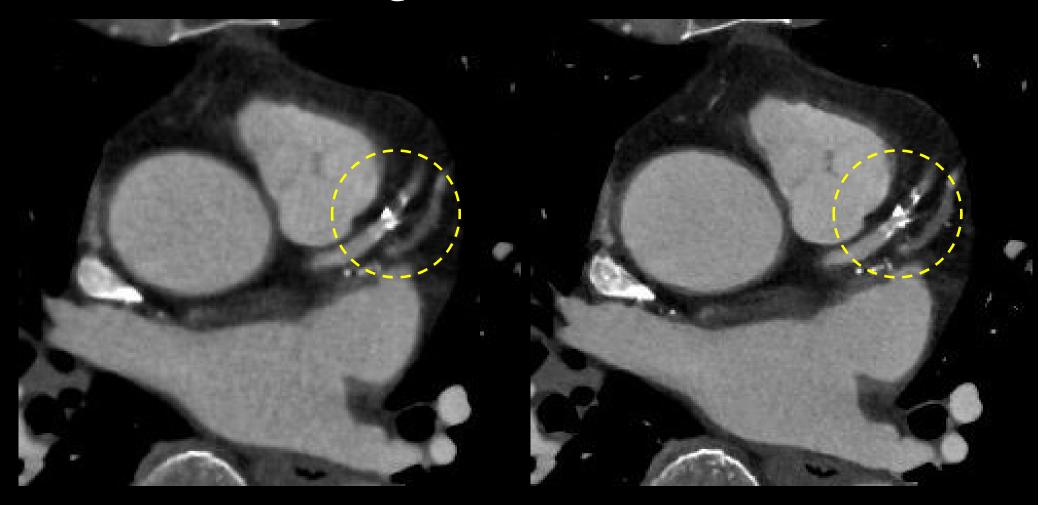
VR (RCA)



Axial (石灰化)



AiCE vs PIQE



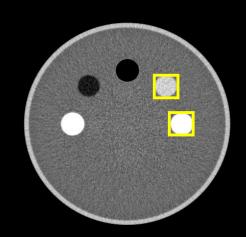
AiCE

PIQEを用いることで, 石灰化評価の精度も向上する可能性がある.

ファントム実験

ファントム

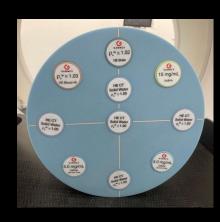
- TOSファントム (CT装置付属)
- Catphan 600 (Phantom Laboratry)
- Multi-energy CT Phantom (GAMMEX)



TOSファントム アクリル(≒ 130 HU) デルリン(≒ 340 HU)

撮影条件 (当院冠動脈CTA撮影条件)

- 120 kV
- · 220 mA (SD 35 @ 0.5 mm)
- 0.275 sec/rot
- 160 mm Volume scan
- 0.5 mm



Multi-energy CT Phantom

| ロッド | 直径 (mm) |
|----------------|----------|
| Iodine 15mg/mL | 30 |
| Iodine 5mg/mL | 30, 5, 2 |

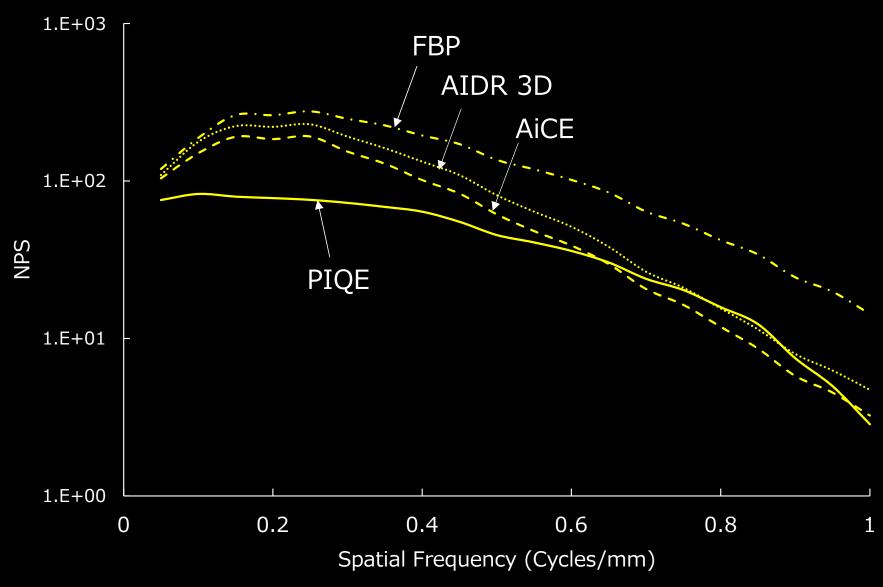
その前に・・・

ある冠動脈CTA症例の一例

| 再構成法 | 時間 |
|---------|-------|
| FBP | 12秒 |
| AIDR 3D | 18秒 |
| FIRST | 3分20秒 |
| AiCE | 54秒 |
| PIQE | 1分55秒 |

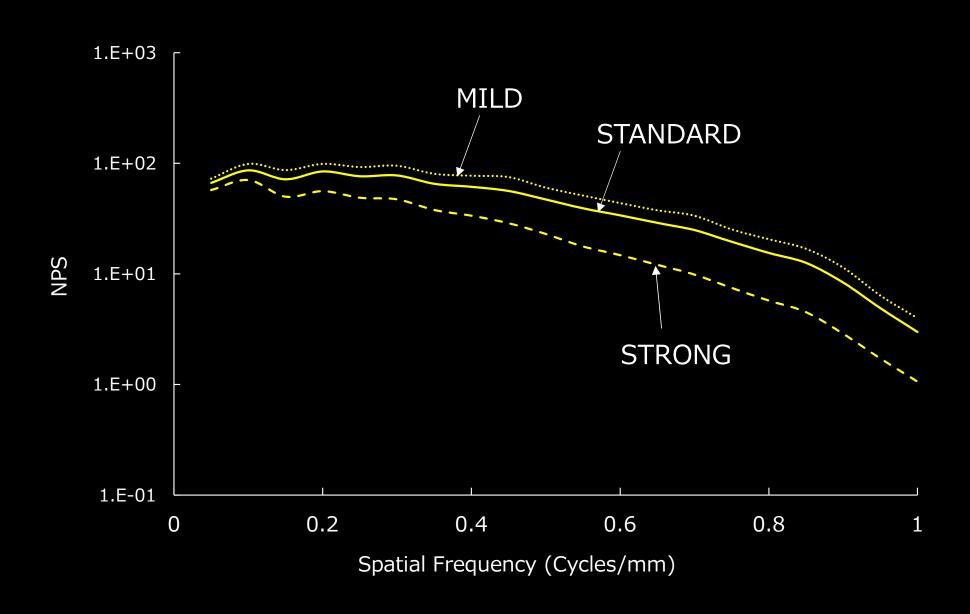
(撮影範囲160mm, Phase 75%, 0.5mm/0.25mm, Half再構成)

NPS - 再構成法比較

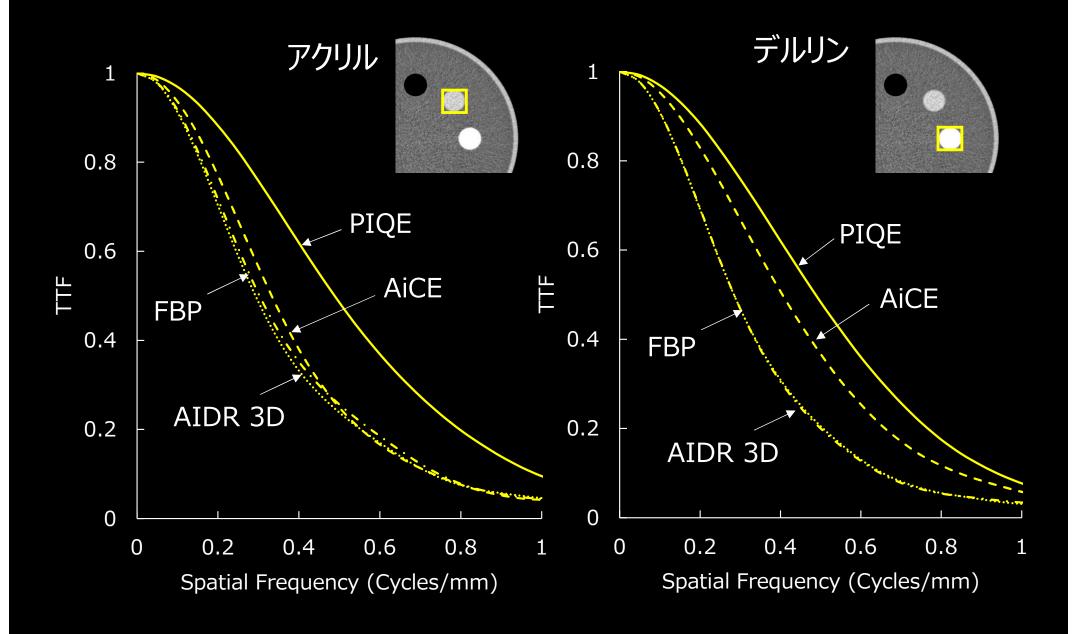


※Levelは全てStandard, AiCE/PIQEはCardiacを使用.

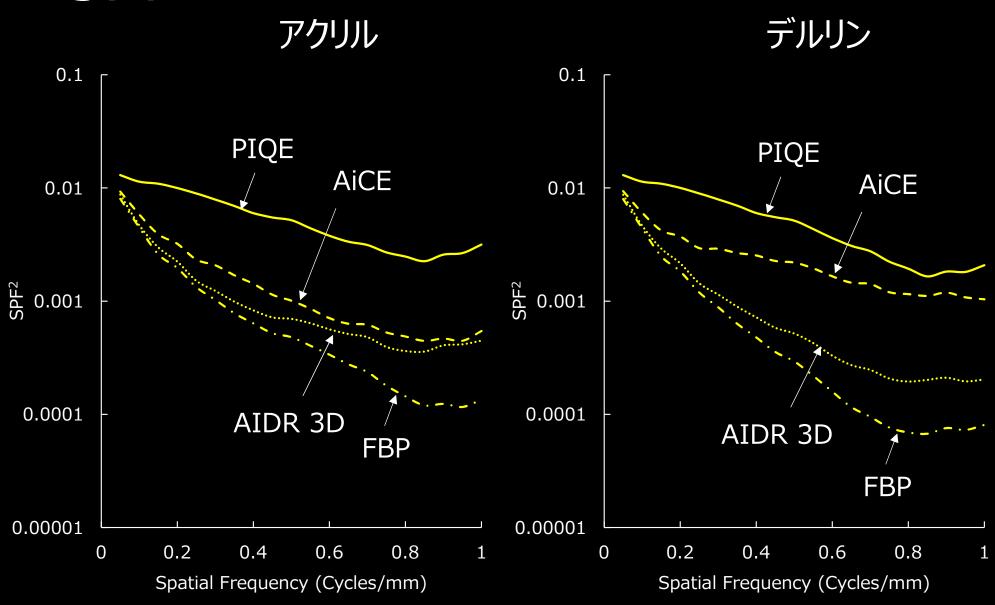
NPS - PIQE内(強度)比較



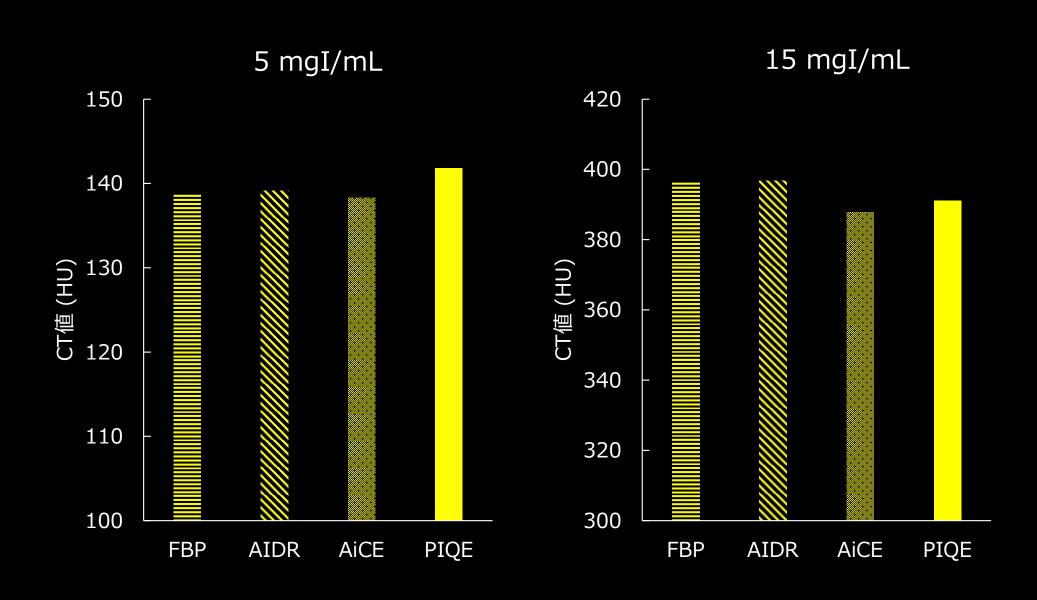
TTF - 再構成法比較



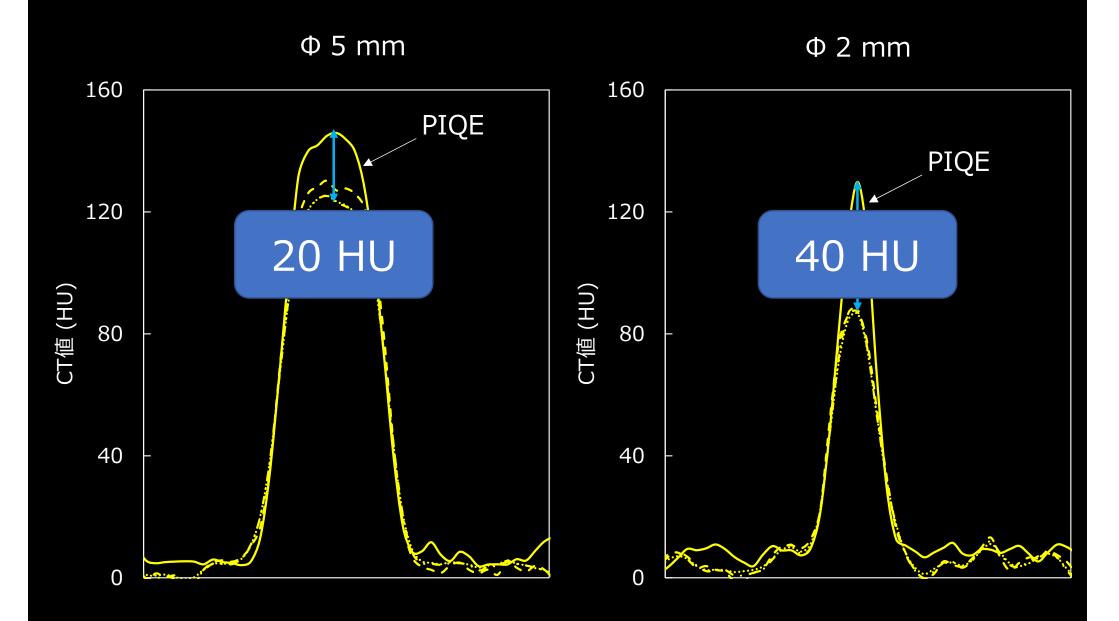
SPF



CT値 (φ30 mm Iodine)

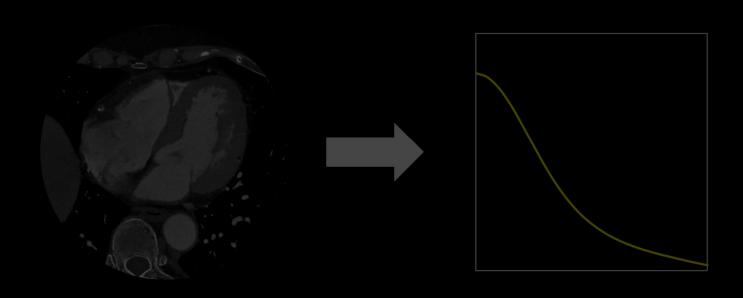


CT値 (5 mg/mL Iodine)



本日の内容

- ▶ 鹿児島大学病院の紹介
- ➤ CanonにおけるAI技術の現状 (AiCE, PIQEについて)
- > AI技術の将来への期待



PIQE

ノイズ低減

十

テクスチャーの担保

超解像度

現状:心臓領域のみの適用

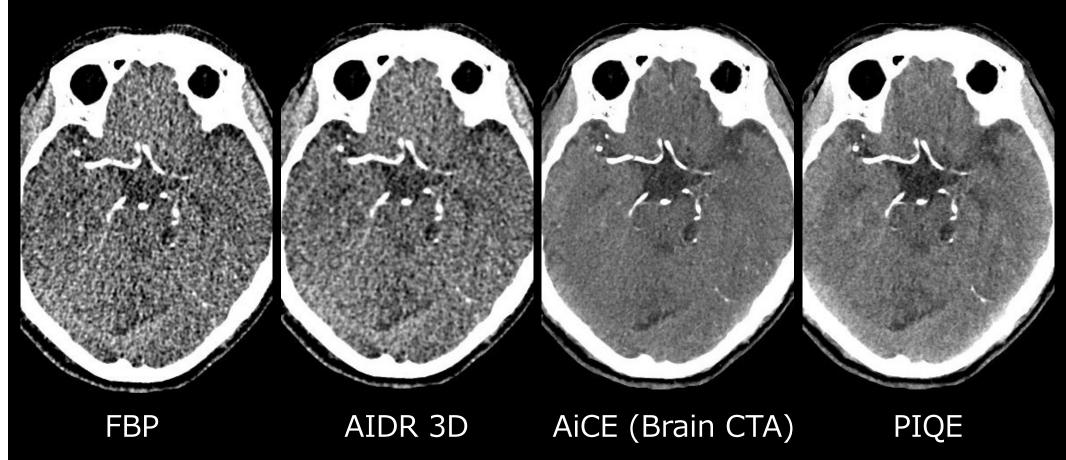
- 1volume撮影
- 造影効果が高く細い血管に有用



他の部位ではどうなるのか?

頭部Perfusion-Ax

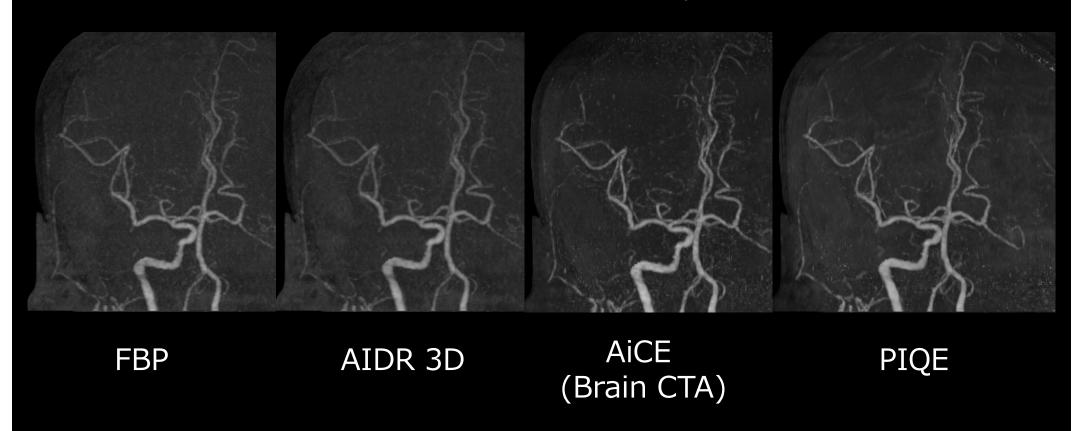
80kV, 120mA, 1.0sec/rot, 1.0mm Slice, WL/WW:50/150



PIQEはBrain CTAを使用したAiCEと同等の血管描出能

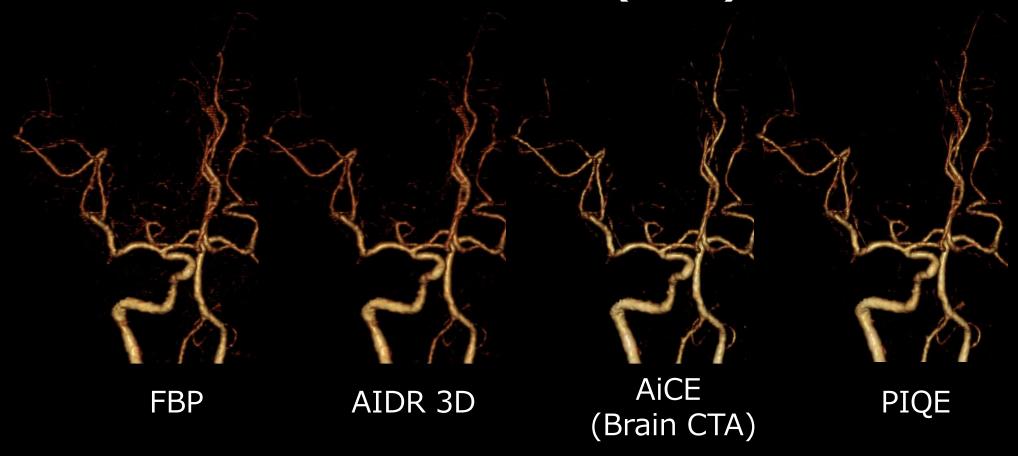
頭部Perfusion-3D (MIP)

各再構成法について動脈相から1相目をsubtraction, WL/WWは一定



PIQEはBrain CTAを使用したAiCEと同等の血管描出能

頭部Perfusion-3D (VR)



PIQEとAiCEが同等の血管描出能であれば, 再構成時間の短いAiCEを選択・・・?



全身の各部位専用の教師データ・ヘリカルスキャンにも対応できればさらに有用になる!!

本日のまとめ

- CTにおけるAI技術は、Deep learningを使用した再構成に非常に有用である.
- PIQEは, 低ノイズかつ高解像度の画像を得ることができ, 今後は全身への応用が期待される.
- CT画像を一番最初に目にする放射線技師は, AIに使われるのではなく, AI技術の進化をうまく活用し, より診断に有用な画像を提供していく必要がある.

